

◆授業設計のポイント◆

- ・ コミュニケーションツールとしての英語を深く理解させるための工夫（生徒の姿の具体化）
- ・ 思考を広げ深める対話的な言語活動の工夫（ALTとのTeam Teachingの工夫）
- ・ 学習プロセスの構成による見通しと振り返りの充実

## 英語科学習指導案

学 級 3年6組（男子17名 女子20名 計37名）  
場 所 3年5組教室（3年校舎2階）  
授業者 教 諭 岩 崎 健  
A L T Tony Cimino  
A L T Brianna Coulson

### 1 単元名 Sunshine English Course 3 Program 3 The 5 Rs to Save the Earth

### 2 単元について

本単元では、武史とリサが粗大ゴミの山にまだ使えそうな椅子や机があることに気付き、環境を守るために3Rs（Reduce, Reuse, Recycle）以外にできることについて話し合う内容である。武史とリサが自分たちの国でのリサイクル活動について話す場面、3Rs以外にビニール袋等の使用を断る（Refuse）ことも環境保全につながるという会話、そして父親に自転車を修理してもらい（Repair）新品を買わずにすんだという武史のメールという構成になっている。言語材料として、[It is ～(for+人)to …]、[how（など）to不定詞]、[主語+tell（wantなど）+目的語+to不定詞]が扱われている。これらの言語材料を学習することによって、自分の考えを表現したり、何かの仕方をたずねたり、誰かに何かを依頼したりすることができるようになる。本単元は環境問題という社会的な話題が題材となっていることから、言語材料を用いながら身の回りの環境について自分の考えをまとめたり、他者に伝えたりする活動に取り組むことが可能であると考えられる。

本学級の生徒は、積極的に学習に取り組む生徒が多く、英語で相手に考えを伝えようとする姿が見られる。しかし、自分の考えや思いを十分に英語で表現することができるようになるまでには至っておらず、型にはまった英語表現に留まってしまう生徒もいる。そのため、帯学習の中で基本表現を使って繰り返し対話練習をする場面を設定し、様々な表現に慣れ親しませ、英語を活用する力を高める必要がある。

指導にあたっては、本文の内容理解を通して環境問題について自分の考えをまとめさせるとともに、[It is ～(for+人)to …]、[how（など）to不定詞]、[主語+tell（wantなど）+目的語+to不定詞]といった言語材料を適切に使用できるように指導を行い、活用を図りながらその表現を理解させたい。単元を通した学習課題を「アメリカの生徒と環境問題について意見交換をしよう」と設定し、他者との対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるような活動を行わせたい。具体的には、アメリカの生徒からの「日本の環境問題について教えてほしい」という依頼に応えるためのレポートを書くという課題を設定する。それによって、生徒は「アメリカの生徒に日本のことを伝えたい」という意欲を持って学習に取り組むことができると考えた。まず、単元の導入時にリフレクションシートを活用し、活動を通して何ができるようになればよいかを明確にすることで、生徒が見通しをもちながら学習に取り組むことができるようにする。レポートを作成する際に、「導入—本論—結論」という文章構成を意識させ、まとまりのある文章を書くことができるように指導を行いたい。また、読み手に分かりやすい文章にするために、生徒同士やALTとのやり取りを通して自分の考えを練り上げさせたい。さらに、学習活動後にリフレクションシートを活用することによって、学習の振り返りができるようにする。生徒が見通しを持ちながら、課題の解決に向けて意欲的に学習できるようにしたい。

### 3 単元の目標

- (1) [It is ～(for+人)to …]、[how（など）to不定詞]、[主語+tell（wantなど）+目的語+to不定詞]の意味・形・用法を理解し、活用することができる。

- (2) 相手に分かりやすい文章であるかを考えた上で、環境問題について自分の考えを書くことができる。  
 (3) 他者と意見交換をしたり、自分の考えを整理したりしながらレポートをまとめようとしている。

#### 4 単元の指導計画（全9時間）

【Goal of Program 3：アメリカの生徒と環境問題について意見交換をしよう】（は本時扱い）

時	過程	主な学習活動	【 <input type="checkbox"/> 】生徒の姿の具体化 ○ 思考を広げ深める対話的な言語活動の工夫 □ 学習プロセスの構成による見通しと振り返りの充実
第1時	課題の把握・見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキーマの形成</li> <li>学習課題の確認</li> <li>マッピング</li> </ul>	<input type="checkbox"/> アメリカの生徒からの依頼を受け、コミュニケーションを行う目的や状況を把握する。 <b>【気づき：アメリカの生徒にどんなことを伝えたいのだろうか】</b>
第2時	課題の追究	<ul style="list-style-type: none"> <li>Program 3 ① It is ~ (for+人) to ... 基本文の理解・練習</li> <li>メモの作成 自分の伝えたいことを明確にする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> リフレクションシートの活用。 <b>【身近で気になる環境問題を取り上げることができた】</b>
第3時		<ul style="list-style-type: none"> <li>Program 3 ① 本文の内容理解</li> <li>提言の作成①</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 生徒同士の対話活動を通して、自分の考えをどう伝えるべきかを考える。 <input type="checkbox"/> リフレクションシートの活用。 <b>【環境問題について相手に伝えることができた】</b>
第4時		<ul style="list-style-type: none"> <li>Program 3 ② how(など) to 不定詞 基本文の理解・練習</li> <li>提言の作成②</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 文章の構成を考えながら文章をまとめる。 <input type="checkbox"/> リフレクションシートの活用。 <b>【どんな対策をすべきかを伝えることができた】</b>
第5時		<ul style="list-style-type: none"> <li>Program 3 ② 本文の内容理解</li> <li>言語活動（中間発表）</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 相互評価を通して、発表した内容を見直す。 <input type="checkbox"/> リフレクションシートの活用。 <b>【友達からのアドバイスで自分の考えを見直すことができた】</b>
第6時		<ul style="list-style-type: none"> <li>Program 3 ③ tell+目的語+to不定詞 基本文の練習・理解</li> <li>提言の加筆、修正 アドバイスを参考にして内容の加筆・修正をする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> リフレクションシートの活用。 <b>【納得：友達の見意をもとに、文章の内容を分かりやすく修正することができた】</b>
第7時		<ul style="list-style-type: none"> <li>Program 3 ③ 本文の内容理解</li> <li>提言の加筆、修正、発表練習 聞き手を配慮した発表ができているかを確認する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> リフレクションシートの活用。 <b>【相手に分かりやすくなったかどうかを考えてまとめることができた】</b>
第8時		<ul style="list-style-type: none"> <li>言語活動（発表） 環境対策について発表を行い、ALTと質疑応答をする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> ALTとの質疑応答を通して、内容を見直す。 <input type="checkbox"/> リフレクションシートの活用。 <b>【ALTのアドバイスを参考にして、レポートの内容を見直すことができた】</b>
第9時		<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の総復習（単元テスト）</li> <li>言語活動（まとめ） 海外の生徒に送るレポートを書く。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> リフレクションシートを活用して、単元の振り返りをする。 <b>【意志：レポートを早くアメリカの生徒に読んでほしい】</b>

## 5 単元における評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力, 判断力, 表現力等	ウ 主体的に学習に取り組む態度
1 [It is ~ (for+人) to …], [how (など) to不定詞], [主語+tell (wantなど) +目的語+to不定詞]の意味・形・用法を理解している。 2 その表現をコミュニケーション活動において活用することができる。	1 聞き手や読み手に分かりやすい文章かどうかを考えながら, 自分の考えを伝えることができる。 2 「導入ー本論ー結論」という構成を意識しながら, 文章をまとめることができる。	1 他者とのやり取りを通して, 自分の考えを積極的に伝えようとしている。 2 他者からのアドバイスをもとに, 自分の考えを分かりやすく整理してまとめようとしている。

## 6 本時の実際 (3/9)

(1) 題材 Program 3 The 5 Rs to Save the Earth

(2) 目標

ア It is ~ (for+人) to …を用いながら, 自分の考えを伝えることができる。

イ 教科書や対話活動を通して, 環境問題に対する自分の考えを相手に伝えることができる。

ウ 生徒やALTとやり取りを行い, 自分の考えを積極的に伝えようとしている。

(3) 授業設計の工夫

ア コミュニケーションツールとしての英語を深く理解させるための工夫 **研究の視点1**

本単元では, コミュニケーションの必然性のある学習課題として, 「アメリカの生徒と環境問題について意見交換をしよう」というゴールを設定し, 深い理解に至った生徒の姿を【他者とのやり取りを通して, 環境問題に対する自分の考えをまとめ, アメリカの生徒に分かりやすく伝えることができる姿】とした。

本時では, 環境問題についての自分の考えを即興的に相手に伝える場面を設定し, 生徒が困り感を感じることによって, 自分の考えを伝えるためにはどうしたらよいかを考える「気付き」の場面, 教科書の本文に出てくる表現を生かしたり, 生徒やALTとの対話を通してアドバイスをもらったりして, 伝え方を工夫しようとする「納得」の場面, そして, 本時の学習を振り返るとともに, 環境問題に対する自分の考えをより分かりやすく伝えようとする「意志」の場面の設定を行い, 各場面においてどのような指導・支援が必要かを考えた。

イ 思考を広げ深める対話的な言語活動の工夫 **研究の視点2**

本時では, 自分が取り上げた環境問題について生徒同士で対話をする場面を設定する。相手の考えを聞いて, それに対して質問をしたり, アドバイスをしたりする活動を行わせることによって, その環境問題についてどのように考えているのかを相手に分かりやすく伝えることができるようになると考えた。また, ALTとのTeam Teachingの工夫として, 生徒同士の対話活動に対して支援をしたり, 質問やアドバイスをしたりする機会を設ける。ALTとのやり取りを通して, 生徒は自分たちの英語が正確に伝わっているのかを確認したり, 分かりやすく相手に伝えるための工夫を考えたりすることができる。これらの手立てを通して, 生徒がメモの内容をさらに広げたり深めたりすることが期待できる。

ウ 学習プロセスの構成による見通しと振り返りの充実 **研究の視点3**

本時では, まず学習目標を確認する場面において, リフレクションシートを用いて前時の学習の振り返りを行わせる。前時でまとめたメモについて, その内容を相手に伝えることが本時の目標であることを確認させることによって, 目的意識をもって学習に取り組ませることができると考えた。また, 授業の終末において, 相手に自分の考えを伝えることができたかどうかをリフレクションシートで振り返らせるとともに, その問題に対してどんな対策をするべきなのかを考え, 相手に伝えようとする次時での活動への意欲を喚起させることが期待できる。

(4) 展 開

時間 (分)	学習過程	主な学習活動 ○ : 予想される生徒の思考	○ 指導上の留意点 ◎ 評価
5	1 Greetings 2 Warm-up	1 あいさつをする。 2 1 minute talkをする。	○ 英語学習の雰囲気をつくる。 ○ トピックは、ALTから提案する。
40	3 Today's Goal	3 本時の目標を確認する。 ① リフレクションシートを確認する。 <b>研究の視点3</b> ② 本時の学習目標を確認する。  環境問題について自分の考えをALTに伝えられるようになる 4 環境問題について対話をする。 ① ALTのモデルを聞く。 ② ペアで対話をする。	○ 目的意識を持って活動に参加できるようにする。
	4 Activity①	「気付き」 <b>研究の視点1</b> ・ メモはあるけど、どう伝えたらいいのかわからない。 ・ メモの内容を相手に伝える方法が分かたらいいのになあ。	○ モデルを示すことによって見通しをもって活動ができるようになる。 ○ 生徒がどのような困り感を感じているのかを確認する。
	5 Understanding of the content	5 教科書の本文の内容理解をする。 ① CDを聞き、聞き取りのポイントに答える。 ② 本文を音読する。 ③ 教科書にアンダーラインを引く。	○ ピクチャーカードを活用しながら本文の内容を確認させる。 ○ 本文の内容理解を通して、自分の考えを伝えるのに必要な表現を確認できるようにする。
	6 Activity②	6 意見交換を行い、自分の考えをまとめる。 ① ペアで対話をする。 ② ALTと対話をし、コメントを聞く。 <b>研究の視点2</b>  「納得」 <b>研究の視点1</b> ・ It is ~ (for+人) to ...を使ったりすると、自分の考えが言やすいことが分かった。 ・ 理由まで相手に伝えられるように工夫をしてみよう。  ③ 自分の考えをワークシートに書く。  ①課題発見力（レベル3）課題の意義を自らの生活と結びつけて捉えることができる。	○ 対話を通して、伝え方を考えさせるようアドバイスの時間を設定する。 ◎ 積極的に相手と意見交換をしているか（ウー1） ◎ 自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができたか（イー2）  ○ 机間指導を行い、活動が滞っている生徒の支援をする。 ◎ It is ~ (for+人) to ...を用いて、自分の考えを伝えることができたか（アー2）
5	7 Reflection	7 学習の振り返りをする。 <b>研究の視点3</b>	○ リフレクションシートを用いて、自己評価をするとともに、次時への意欲づけを図る。
	8 Notice 9 Say goodbye	8 次時の予告を聞く。 9 終わりのあいさつをする。	○ 学習の見通しをもたせ、次時への学習意欲を喚起する。